

戦

評

大会名

ファミリーマートカップ  
第37回 全日本バレーボール小学生福岡県大会

男子・決勝

期日： 2017年 6月 25日

会場： 芦屋町総合体育館

主審： 永田 近

副審： 山口 祐幸

記録： 不動 忠輝

補助員： 待鳥 昌光

新宮ジュニア男子 2  $\begin{pmatrix} 21 - 12 \\ 21 - 14 \\ - \end{pmatrix}$  0 三筑ジュニアバレーボールクラブ

試合時間 時間 分

男子決勝は、新宮ジュニア男子(以下、新宮)と三筑ジュニアバレーボールクラブ(以下、三筑)の対戦、第1セット立ち上がりからアタッカーの枚数で優位にたつ新宮が得点を重ねていく。三筑は、1枚のアタッカーで対抗するが、新宮のアタックレシーブからの多彩な攻撃に点差を縮めることが出来ない。終盤には、連続サブポイントで加点した新宮が 21-12 と一挙に制した。第2セット、序盤は、一進退の攻防となる。三筑エースが放った強烈なスパイクを新宮がナイスレシーブ、これをアタッカーがまろちり決めた所で、新宮2点リードして、テクニカルタイムアウトとなる。試合再開後、新宮は、三筑のスパイクをブロックで止めてレシーブでひろい、そしてアタッカーが決めるというリズムで、テンポよく攻撃を組立てて加点していく。最後は、三筑のスパイクがネットとなり 21-14 でゲームセット。新宮ジュニア男子が優勝を決めた。

※ 7~10行にまとめること。

戦評者： 待鳥 昌光

戦

評

大会名

ファミリーマートカップ  
第37回 全日本バレーボール小学生福岡県大会

女子・決勝

期日： 2017年 6月 25日

会場： 芦屋町総合体育館

主審： 藤野 真由美

副審： 茂田 エミ

記録： 福田 幸太

補助員： \_\_\_\_\_

萩ヶ丘クラブ 2  $\begin{pmatrix} 21 - 16 \\ 21 - 14 \\ - \end{pmatrix}$  0 大谷バレーボールクラブ

試合時間 \_\_\_\_\_ 時間 \_\_\_\_\_ 分 \_\_\_\_\_

1セット序盤、少し硬さが見られた萩ヶ丘Cに対し、大谷VBCのエース(5番)が鋭角のスパイクを相手コートに叩き突ける。しかし、徐々に落ち着きを取り戻した萩ヶ丘Cは、スパイカー2枚(1番・4番)で相手のレシーブを巧みに躲し、ブロックを重ねる。最後に大谷VBCも連続ブロックで粘りを見せるが、終われば21-16。2セット目は、中盤まで緊迫したシーソーゲームが続いたが、終盤に萩ヶ丘Cの3番のサービスと5番のスパイクで5連続得点を上げ21-14。萩ヶ丘Cが初優勝を飾り、大会は幕を閉じた。

※ 7~10行にまとめること。

戦評者： 中野 真一

戦

評

大会名

ファミリーマートカップ  
第37回 全日本バレーボール小学生福岡県大会

男女混合・決勝

期日： 2017年 6月 25日

会場： 芦屋町総合体育館

主審： 平井 茂俊 (筑豊)

副審： 田中 貴浩 (筑後)

記録： 森重 智江 (中部)

補助員： 芦屋 浩二 / 岡垣 浩二

東園 JVC 2  $\begin{pmatrix} 21 & - & 16 \\ 21 & - & 16 \\ - & - & - \end{pmatrix}$  0 若松 浩二

試合時間 0 時間 48 分

一昨年の全国大会出場チームの北九州地区若松浩二と男女混合で初の全国大会出場を目指す中部地区東園JVCの戦りとなった。試合開始前の練習から、両チーム応援団の観音様が決勝戦らしい盛り上がりを見せて試合がスタートした。両チーム共に男3人女3人の選成チームで試合開始、1セット立ち上がり東園ペースで進むが若松も盛り返しから進み11-9の東園リードでテクニカルタイムを迎えた。その後も東園ペースで進み9-15で若松が2回目のタイムアウト、その後若松が持ちこたえさせたが2-16で東園が押し切った。持っ1セット目は、攻守に東園の好パフォーマンス大原お守りさんの活躍が素晴しかった。2セット開始は両チームサブミスが多く立ち上がりから一進一退の攻防となった。11-10の若松リードでテクニカルタイムを迎えしたが東園が逆転し押し切り初優勝を勝ち取った。特に優勝チームのセッターの機敏な動きと、若松パフォーマンスの格闘者の必死のプレイは見るものがあった。

※ 7~10行にまとめること。

戦評者： 永田 希昭 (北九州)